

2013.2.5 厚生労働省
地域・職域連携推進事業関係者会議

特定健康診査分析の活用を 含めた地域・職域連携活動

浜松医科大学医学部健康社会医学講座教授
尾島 俊之

- 静岡県健康福祉部健康増進課
(静岡県総合健康センター)
- 全国健康保険協会(協会けんぽ)静岡支部
- 静岡県国民健康保険団体連合会

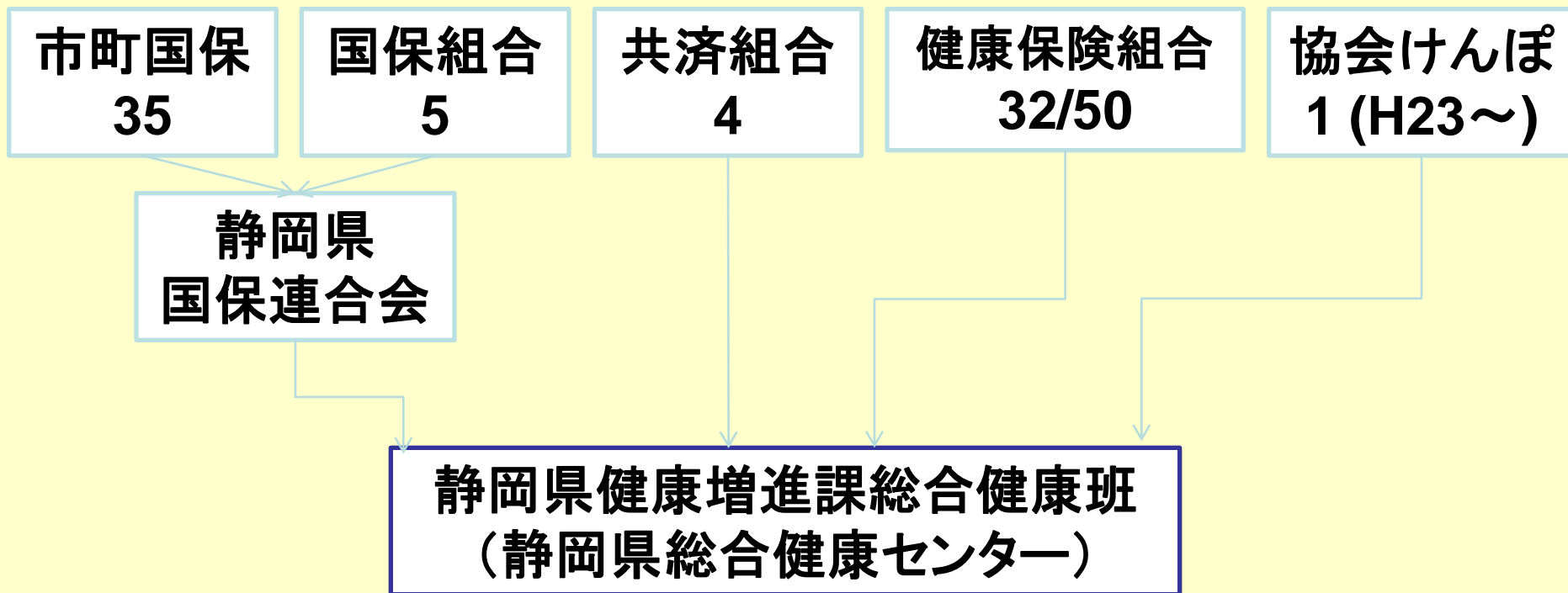
などからご提供いただいた素材を用いて
静岡県での取り組みのご紹介をいたします。

本日の内容

- 国保データの分析
- 協会けんぽデータの分析
- 全種類保険者データの分析
- 健康寿命
- ふじ33プログラム
- 地域・職域連携の推進

静岡県における特定健診データ分析

静岡県内の医療保険者

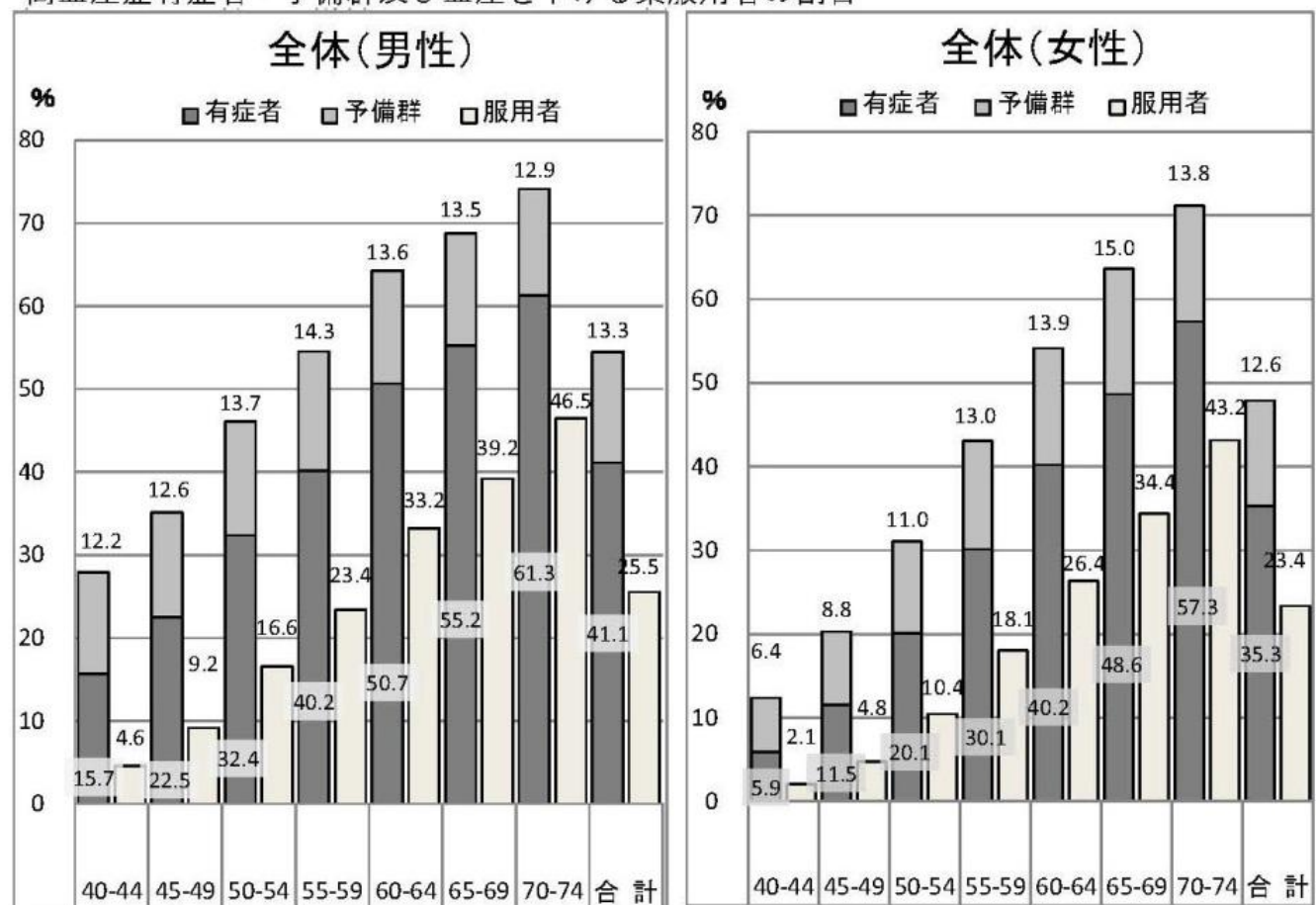


分析・評価・冊子作成
分析結果の公表・施策への反映

平成 22 年度
特定健診・特定保健指導に係る
健診等データ報告書

静岡県
静岡県総合健康センター

高血圧症有症者・予備群及び血圧を下げる薬服用者の割合



※高血圧症有病者

収縮期血圧が 140mmHg 以上、または拡張期血圧が 90mmHg 以上の者、もしくは血圧を下げる薬服用者

※高血圧症予備群

①収縮期血圧が 130mmHg 以上 140mmHg 未満、かつ拡張期血圧が 90mmHg 未満である者

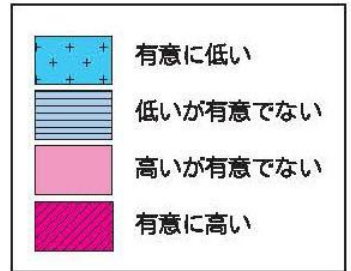
②収縮期血圧が 140mmHg 未満、かつ拡張期血圧が 85mmHg 以上 90mmHg 未満である者

ただし、血圧を下げる薬服用者を除く

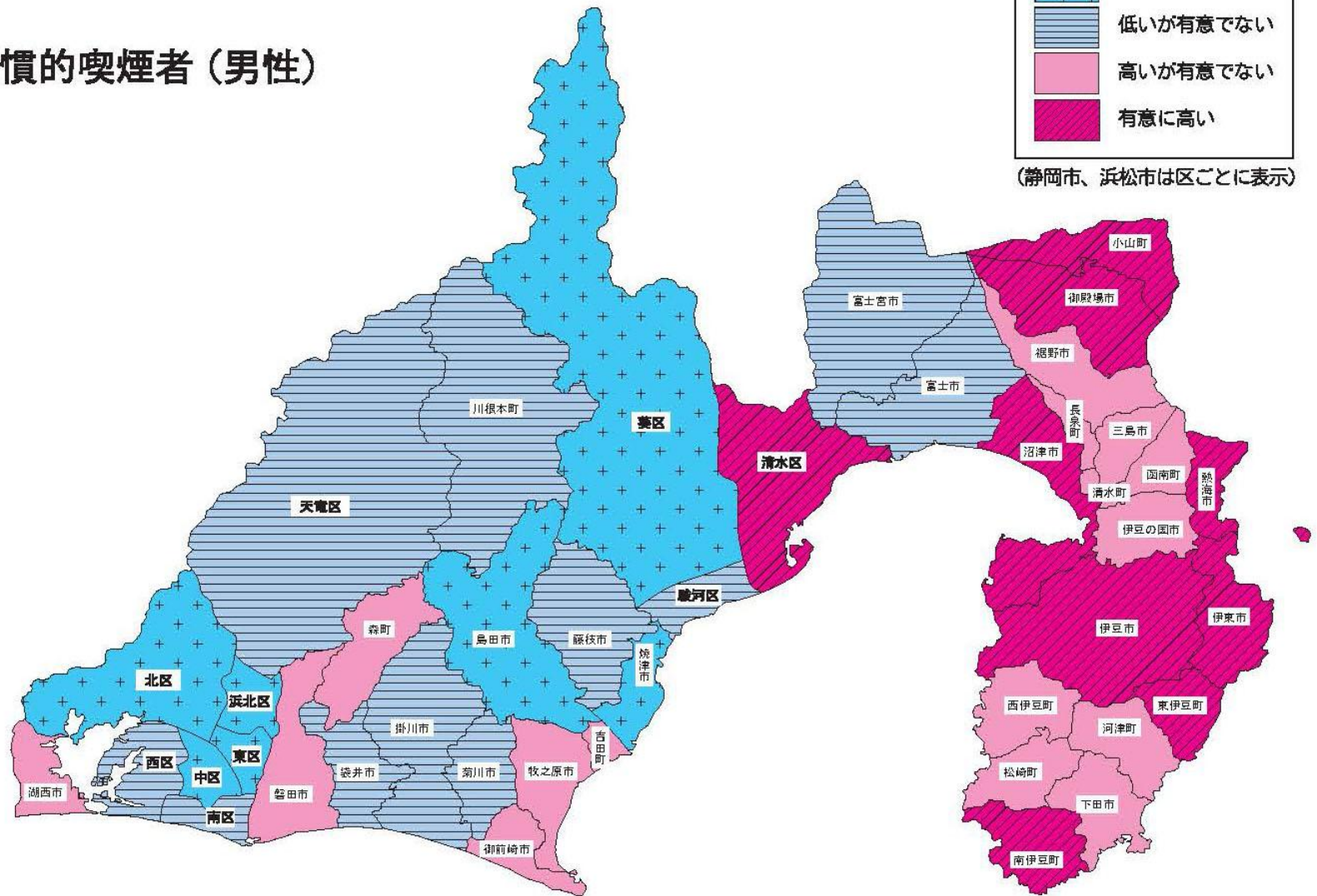
標準化該当比を算定

- 標準化死亡比(SMR)と同様の方法で算定
- 静岡県合計を100とした
- 各地域の年齢構成を考慮して高低を計算
- 県全体と比較した検定も実施

習慣的喫煙者（男性）

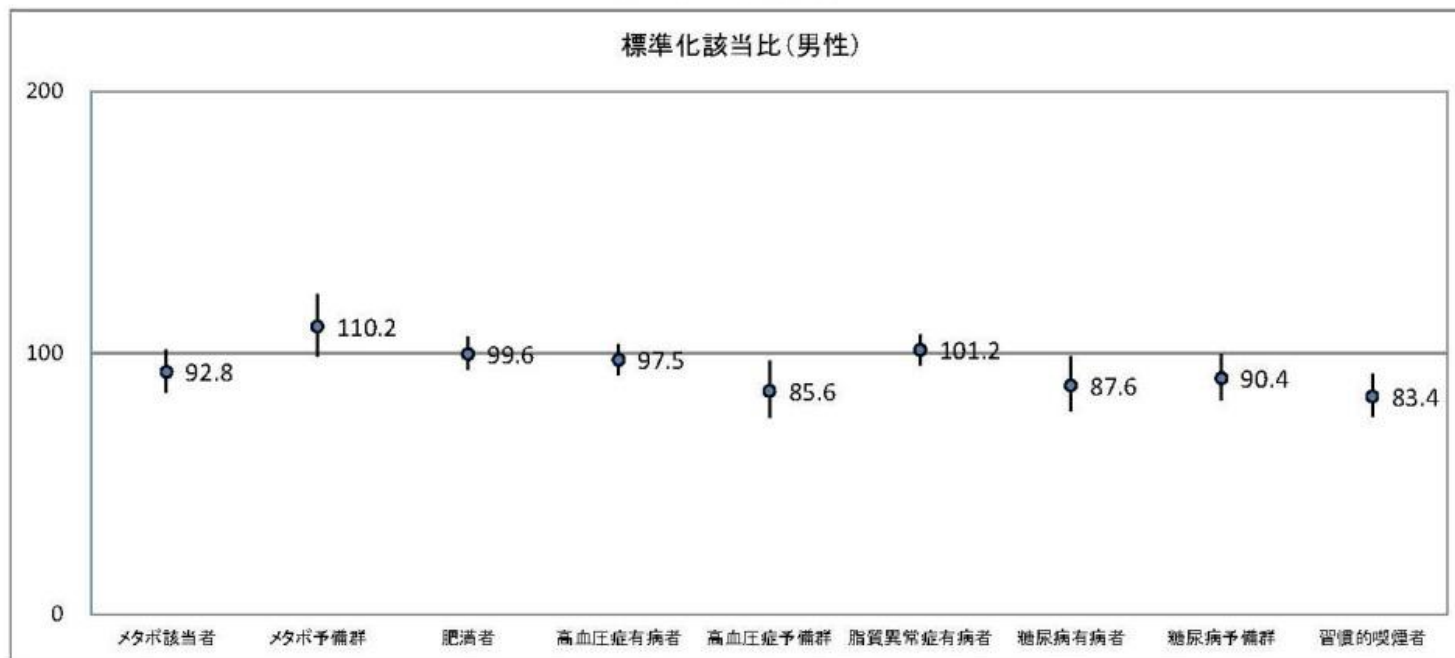


(静岡市、浜松市は区ごとに表示)



浜松市東区

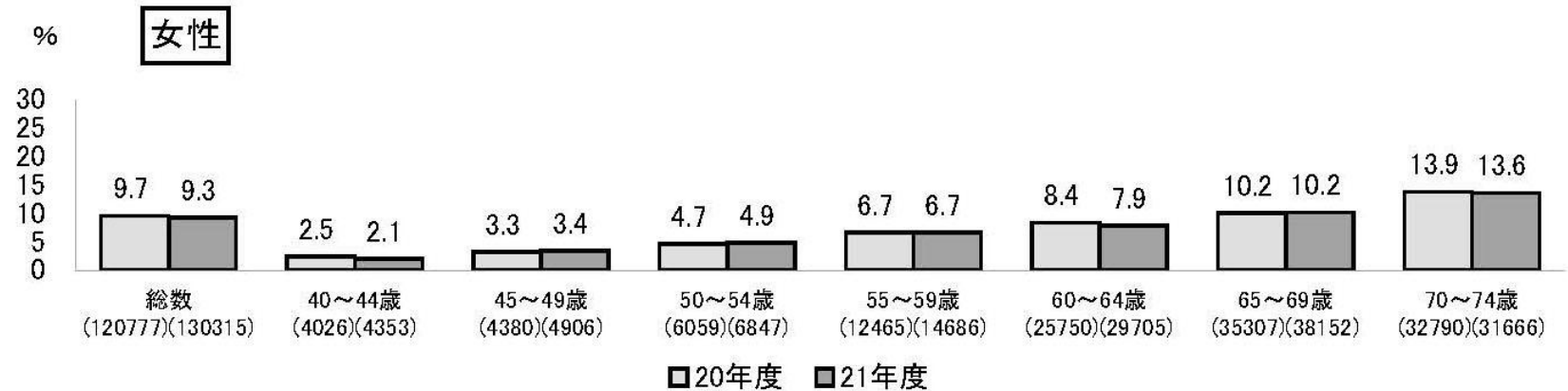
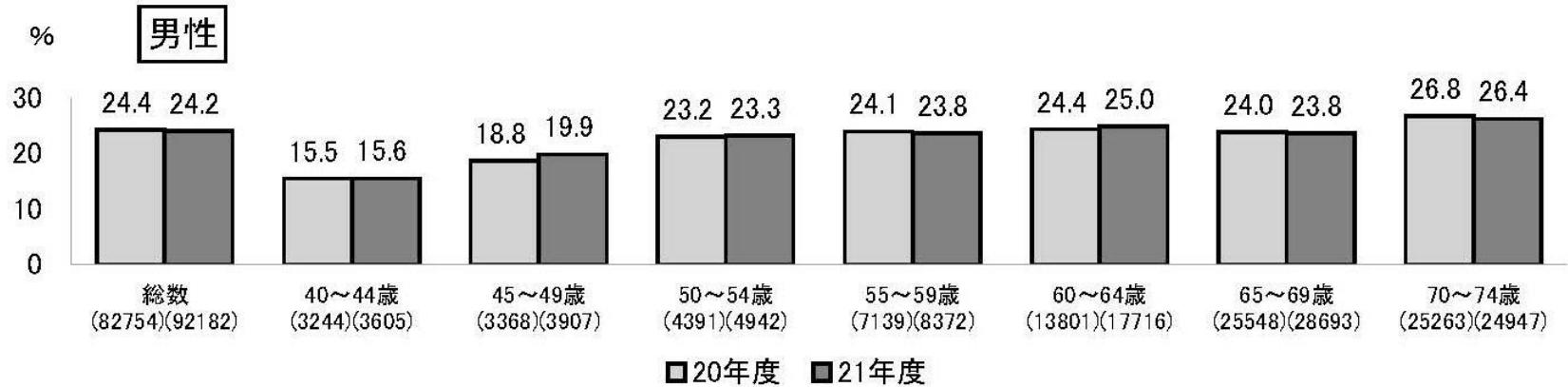
標準化該当比(男性)



項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	2175	507	546.1	92.8	85.0	101.4	2	2779	252	280.8	89.7	79.2	101.7	2
メタボ予備群	2175	339	307.8	110.2	98.9	122.7	3	2779	149	135.3	110.1	93.4	129.6	3
肥満者	2174	981	984.6	99.6	93.5	106.1	2	2779	609	620.0	98.2	90.6	106.4	2
高血圧症有病者	2176	1095	1123.4	97.5	91.8	103.5	2	2778	1164	1198.5	97.1	91.7	102.9	2
高血圧症予備群	2176	255	298.1	85.6	75.5	96.9	1	2778	369	389.0	94.9	85.5	105.2	2
脂質異常症有病者	2176	1190	1175.8	101.2	95.6	107.2	3	2779	1659	1676.0	99.0	94.3	103.9	2
糖尿病有病者	2176	284	324.1	87.6	77.9	98.6	1	2779	205	227.6	90.1	78.4	103.5	2
糖尿病予備群	2176	424	469.1	90.4	82.1	99.5	1	2779	577	619.6	93.1	85.7	101.1	2
習慣的喫煙者	2176	413	495.1	83.4	75.7	92.0	1	2779	114	130.1	87.6	72.6	105.7	2

年次推移の分析

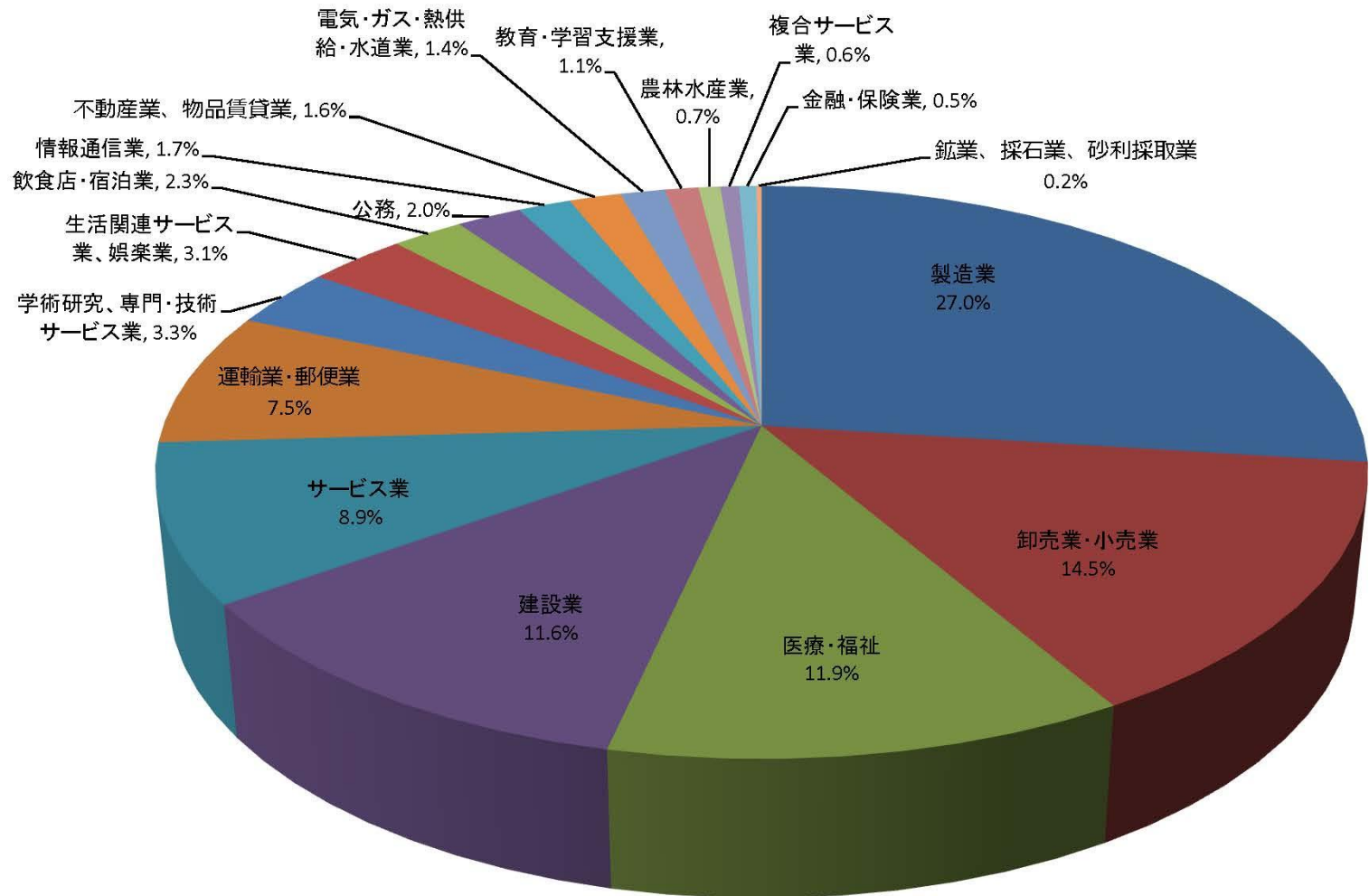
図52. メタボリックシンドローム該当者



本日の内容

- 国保データの分析
- 協会けんぽデータの分析
- 全種類保険者データの分析
- 健康寿命
- ふじ33プログラム
- 地域・職域連携の推進

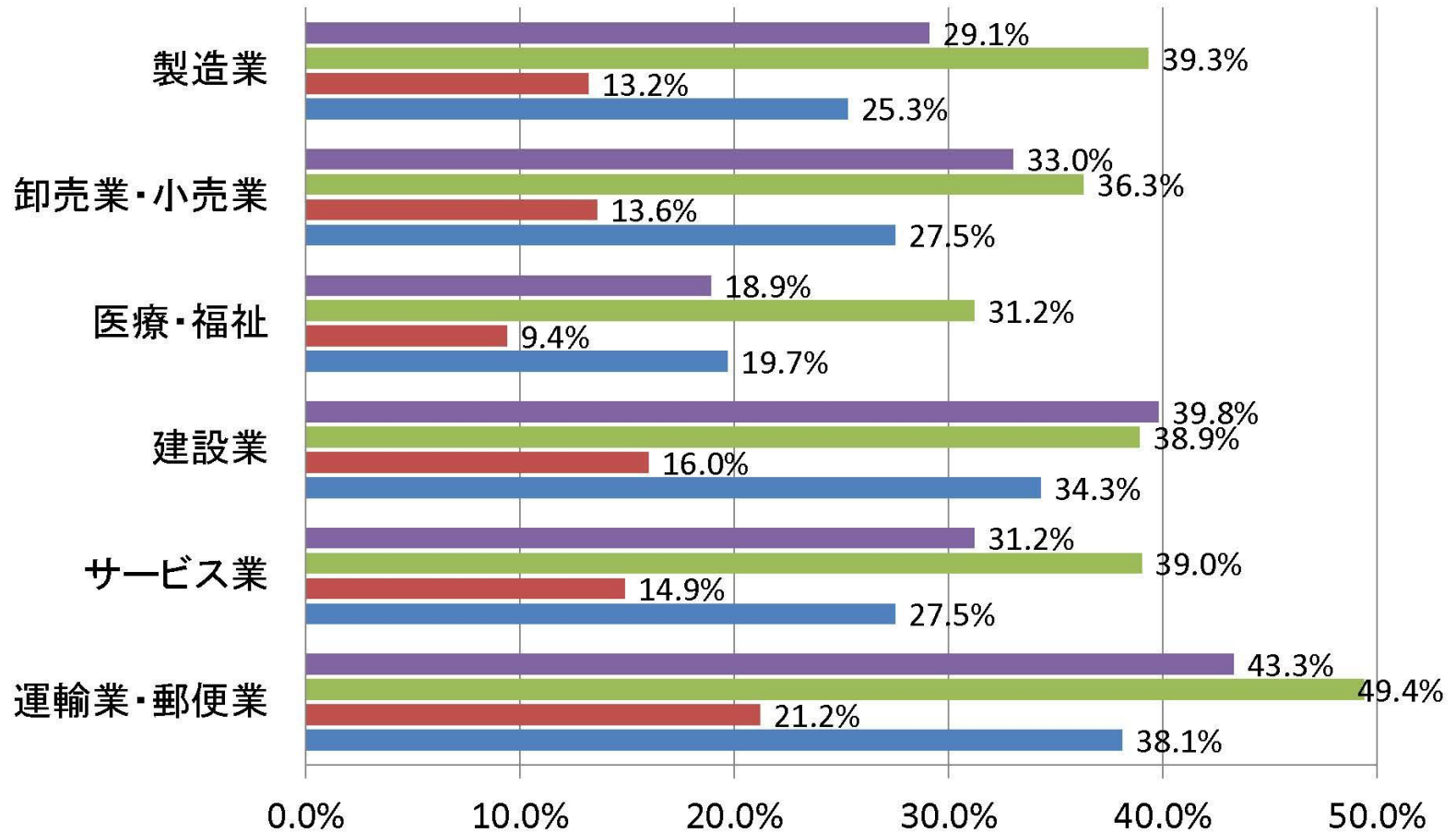
健診受診対象者の業態別割合



上位6業種で、全体の81.4%を占めている

上位6業種における各リスク該当者割合

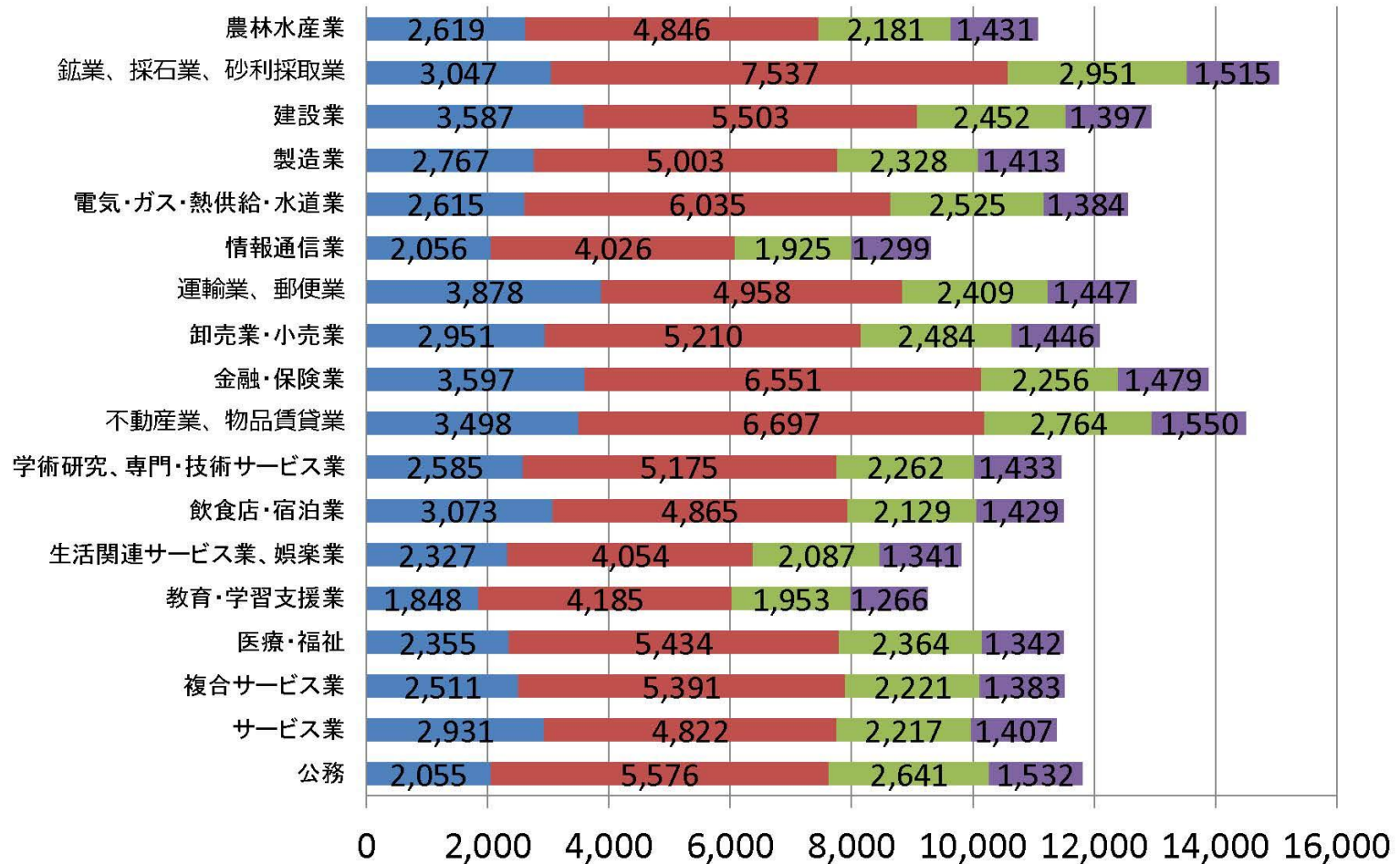
■ 腹囲 ■ 血圧
■ 代謝 ■ 脂質



どの業種も血圧リスクが一番高い。(運輸業・郵便業)は約半数になる。また他のリスク該当割合も高い

業態別被保険者1人当たりの医療費

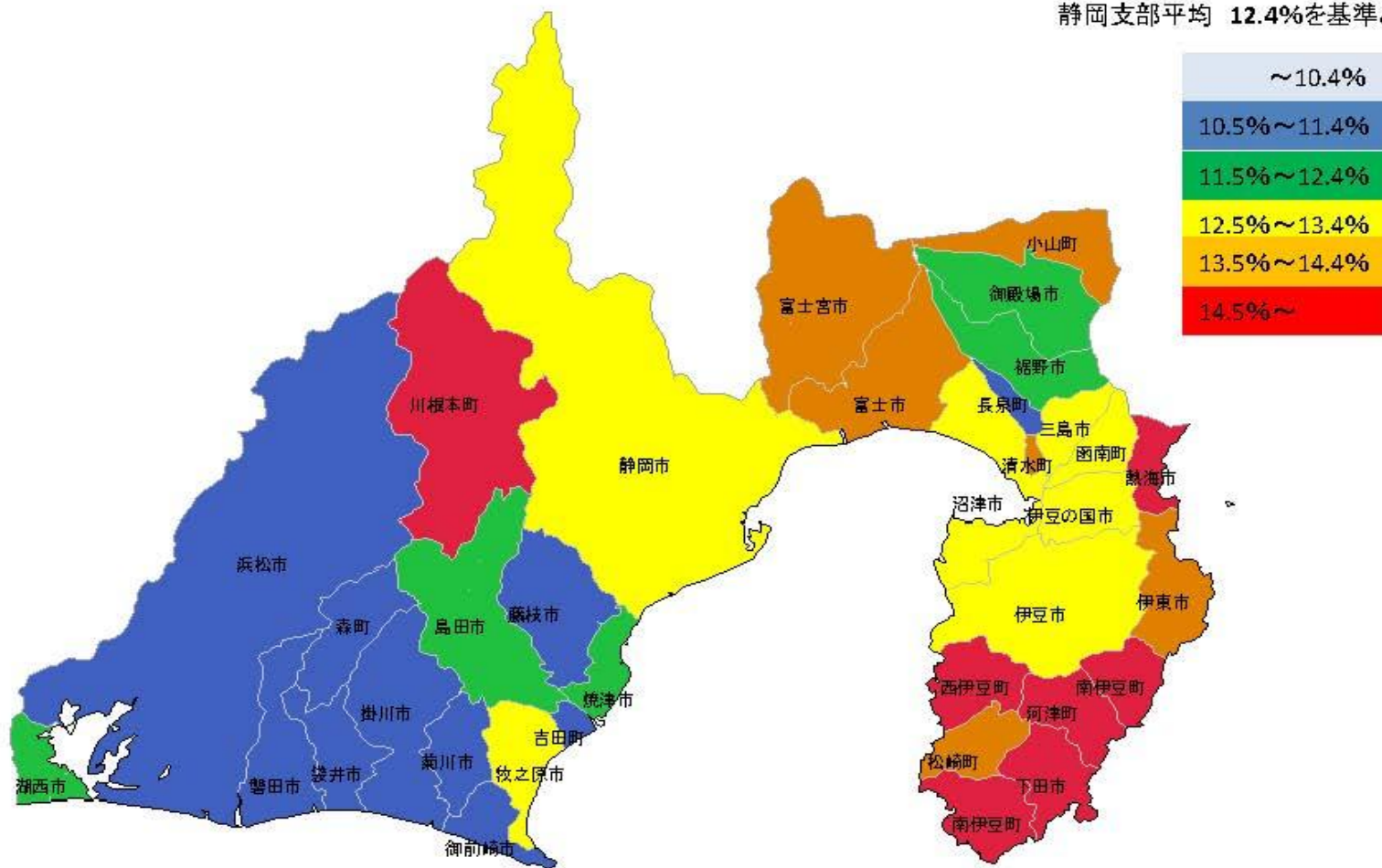
■ (入院/月) ■ (入院外/月)
■ (調剤/月) ■ (歯科/月)



1人当たりの医療費は(鉱業、採石業、砂利採取業)、(不動産業)、(物品賃貸業)、(金融・保険業)、(運輸業、郵便業)の順に高い

メタボリックリスク該当者市町村別割合

静岡支部平均 12.4%を基準とする



本日の内容

- 国保データの分析
- 協会けんぽデータの分析
- 全種類保険者データの分析
- 健康寿命
- ふじ33プログラム
- 地域・職域連携の推進

- 特定健診データの分析
 - ◆ 平成20年度データを、全国に先駆けて、県総合健康センターにて、市町国保のデータ分析を実施し地図化《全国初》
 - ◆ 平成22年度データは、市町国保のほか、共済組合、健保組合を含めた35万人を分析
- 協会けんぽと覚書を締結（平成24年6月18日）
 - ◆ 13.5万人（働き盛り世代が中心）の特定健診データを收受
 - ⇒ それまでの35万人（市町国保、共済組合、健保組合）に加え、合計49万人が分析可能
 - ◆ データ分析、健康づくり対策等について提携

データ分析の対象

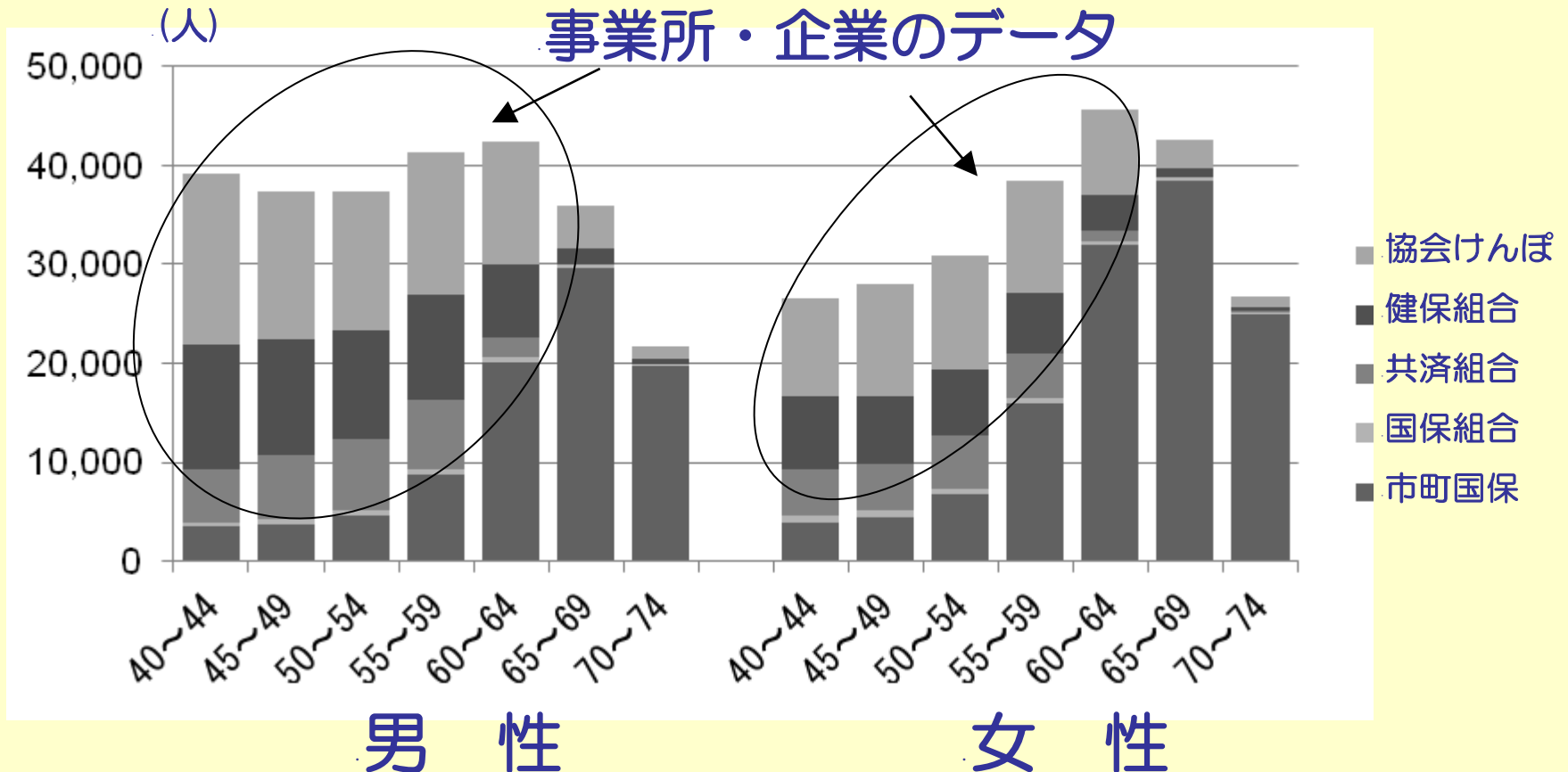
- 県内受診者55.7万人※のうち88.8%をカバー

保険者	全体数	うち 市町別分析に使用 (県内の住所等情報あり)
市町国保	216,260	216,260 (100%)
国保組合	6,581	— (0.0)
共済組合	48,700	38,899 (79.9)
健保組合	88,488	47,272 (53.4)
協会けんぽ	135,505	128,728 (95.0)
合 計	495,534	431,159 (87.0)

全体分析・保険者別分析

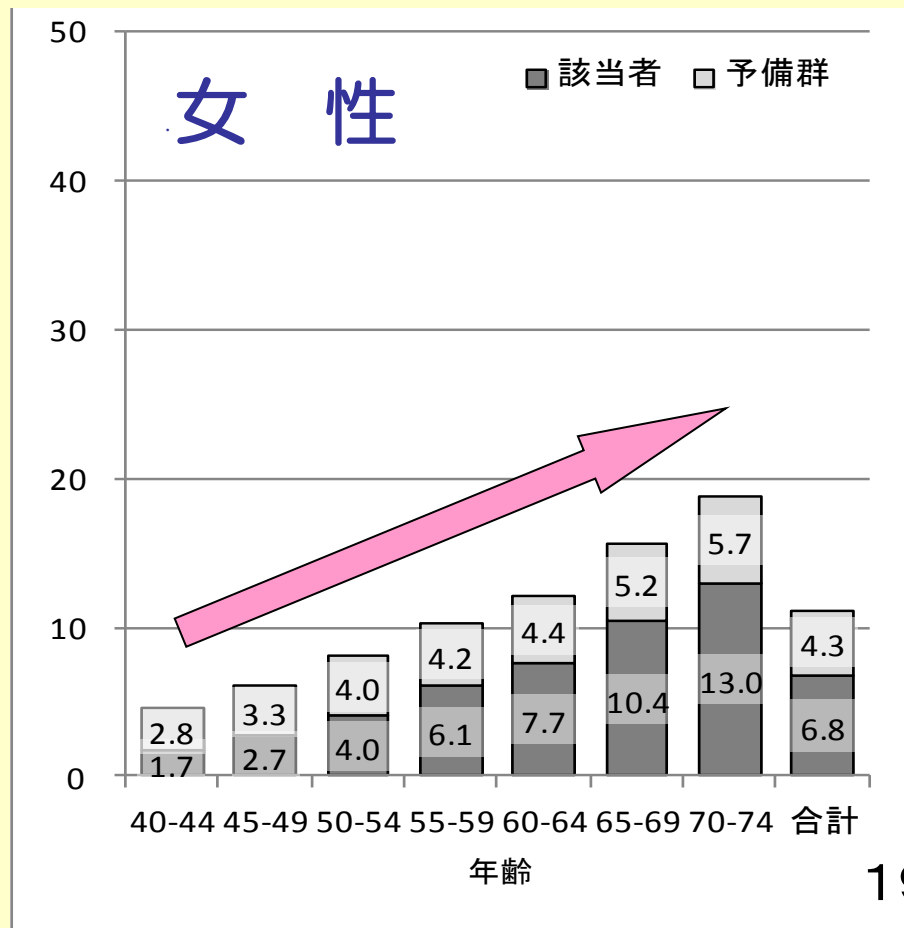
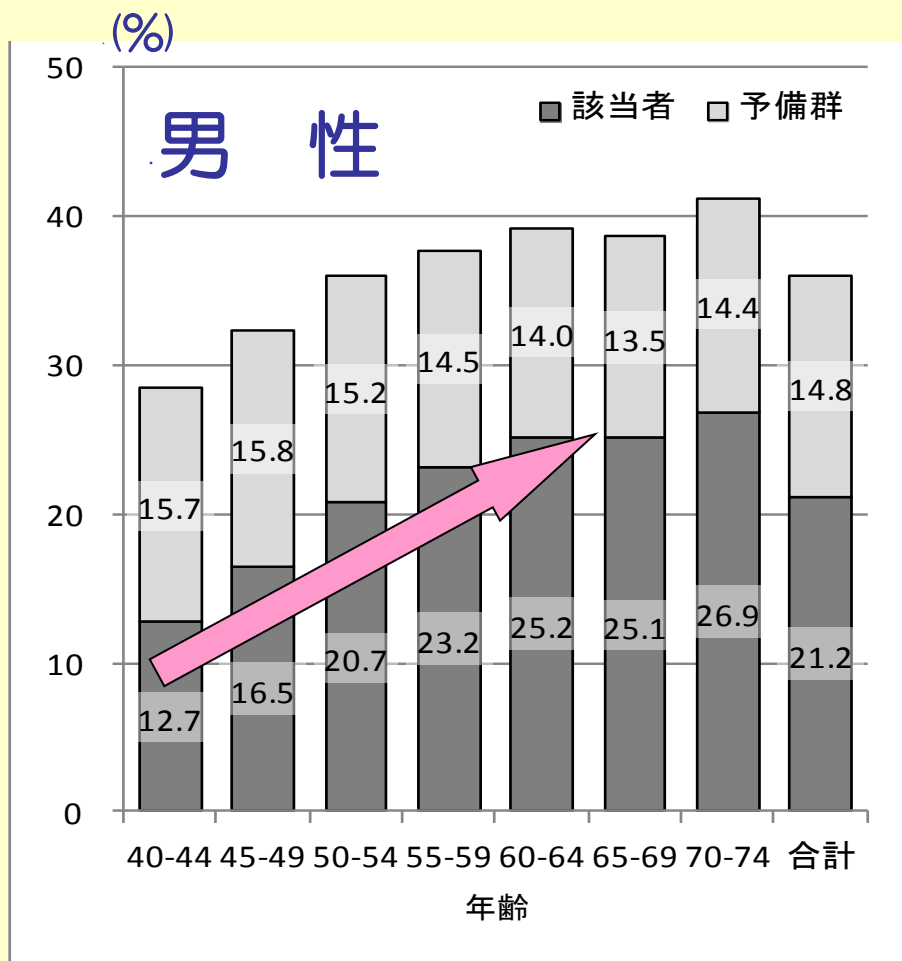
分析の対象

- 協会けんぽ、健保組合等のデータ提供により、若い働き盛り世代を大きく補完



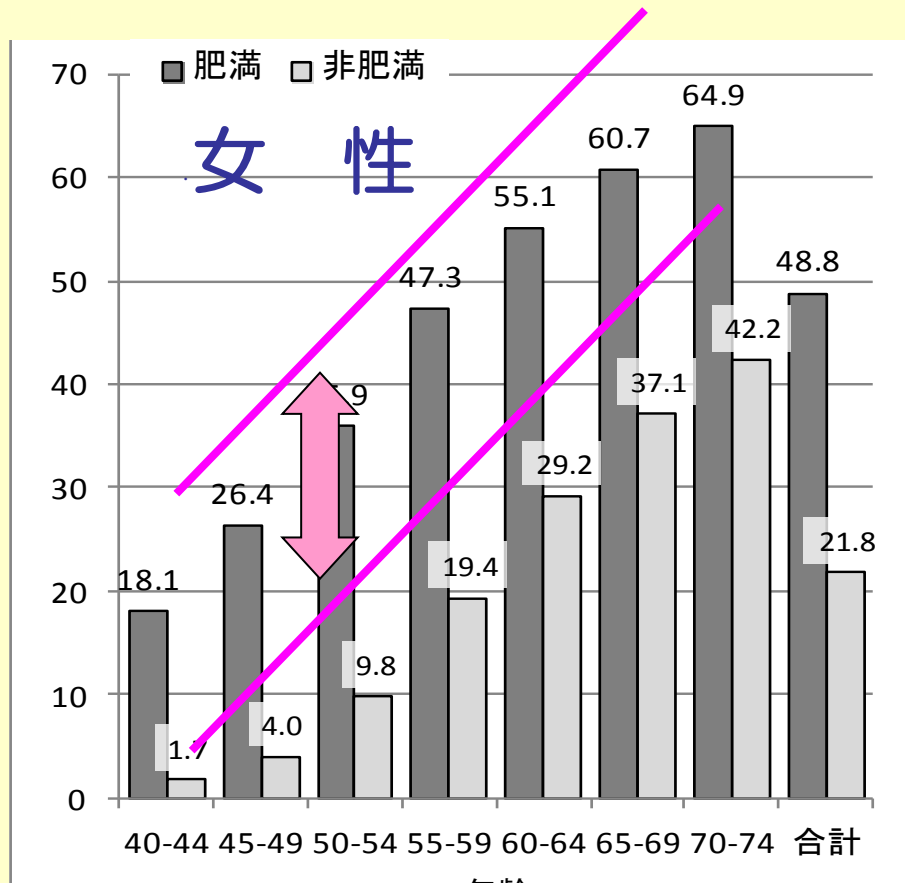
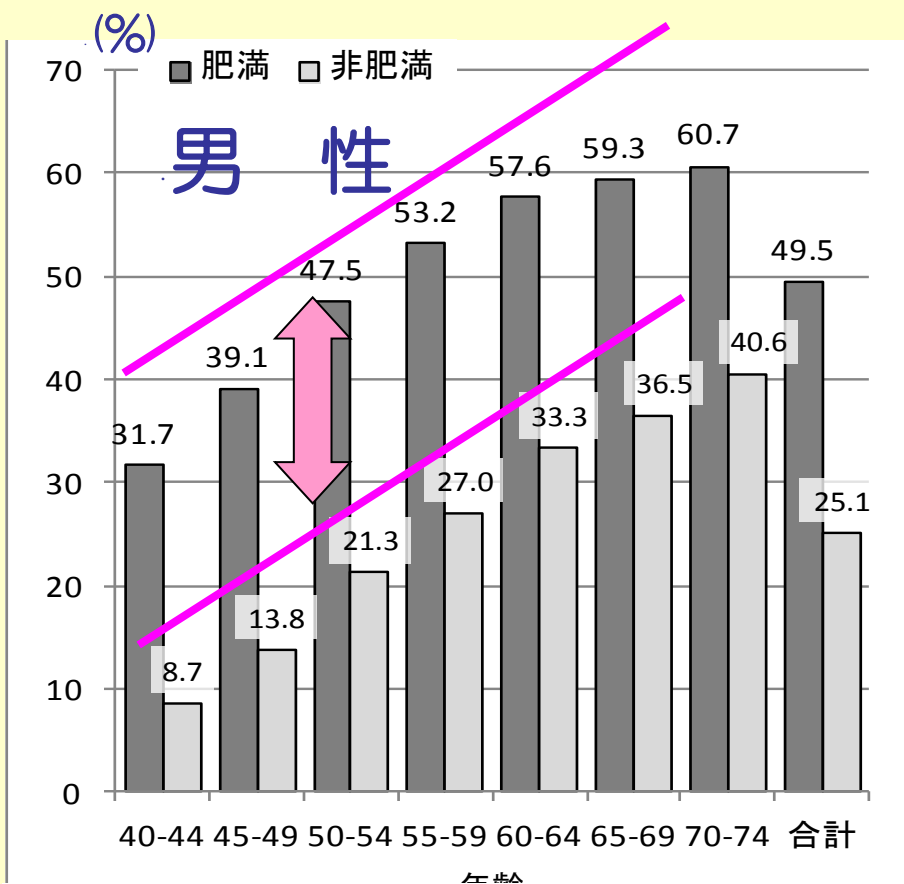
全体分析：年代別のメタボ該当者

- メタボ該当者は、若い働き盛り世代(40代)から増加



全体分析：肥満分類別のリスク保有率

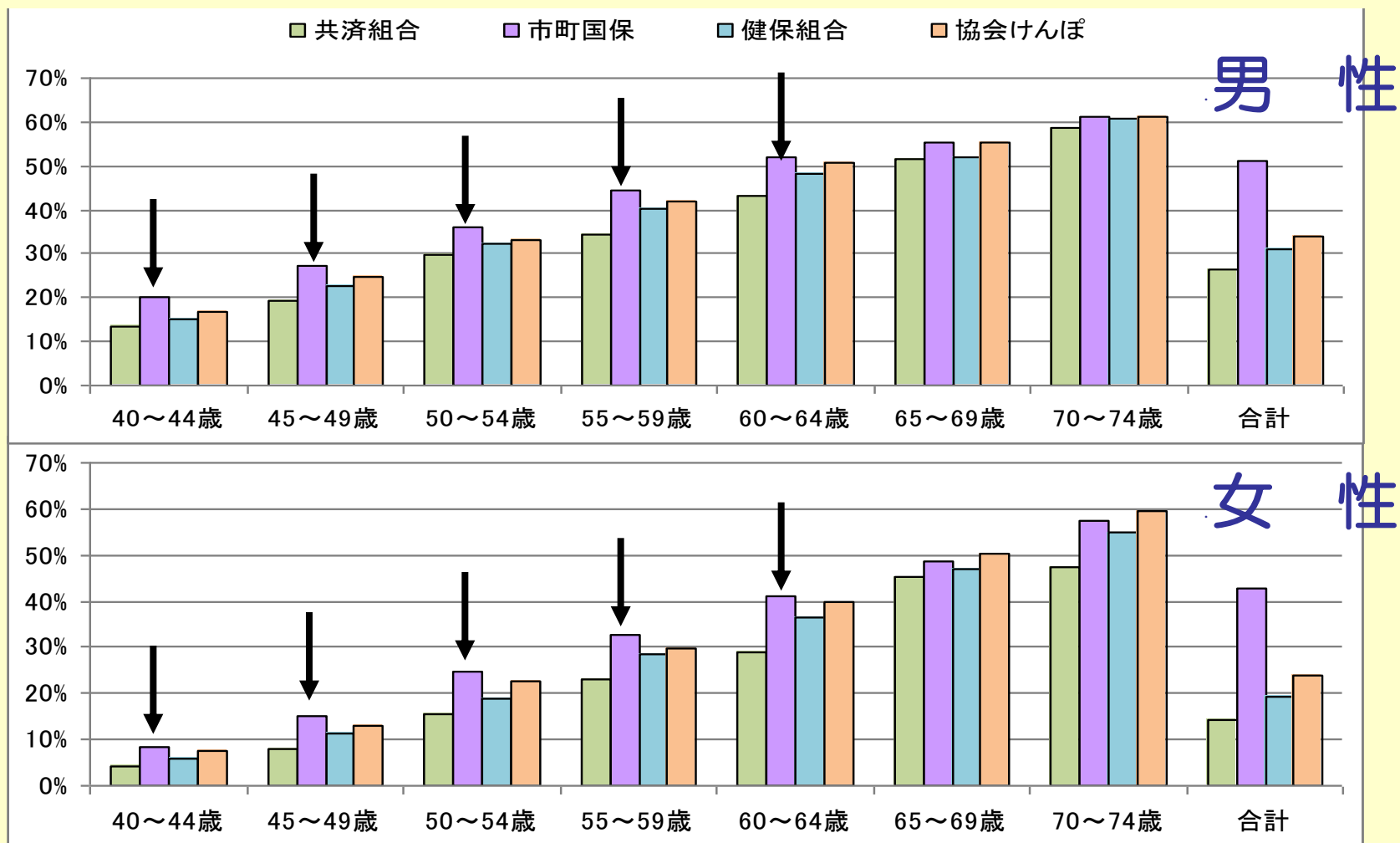
- 肥満は、高血圧症・脂質異常症・糖尿病などの生活習慣病リスクを約25%押し上げる



リスク保有：高血圧症、脂質異常症、糖尿病のうち2つ以上に該当すること

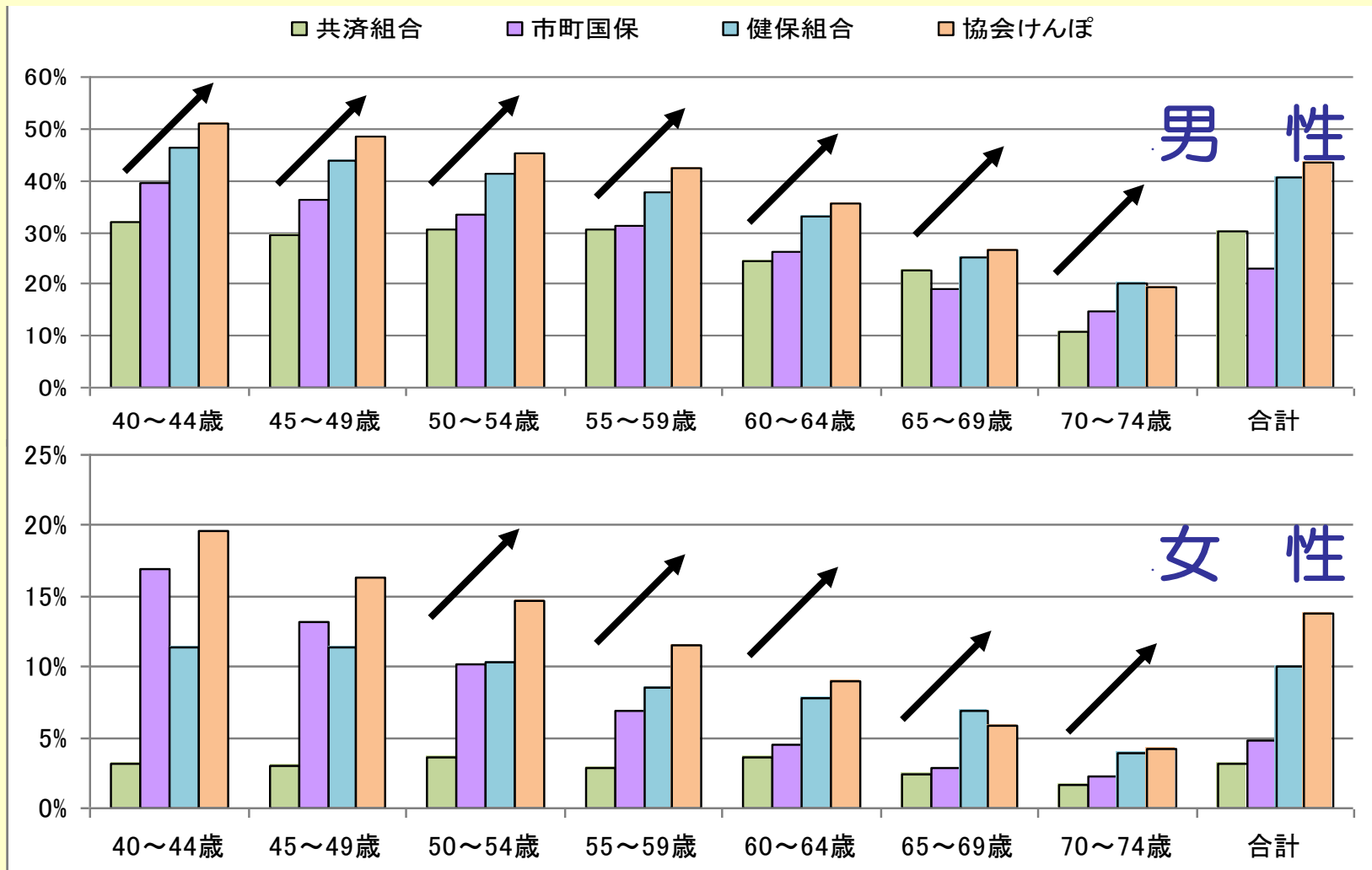
保険者別分析：高血圧症有病者

- 市町国保において高血圧症が多い



保険者別分析：習慣的喫煙者

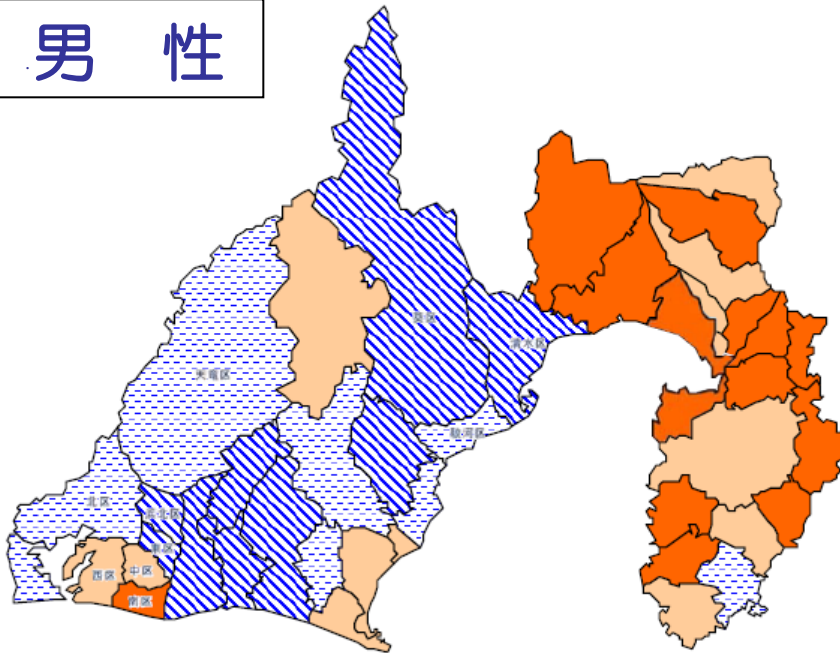
- 企業・事業所において習慣的喫煙者が多い



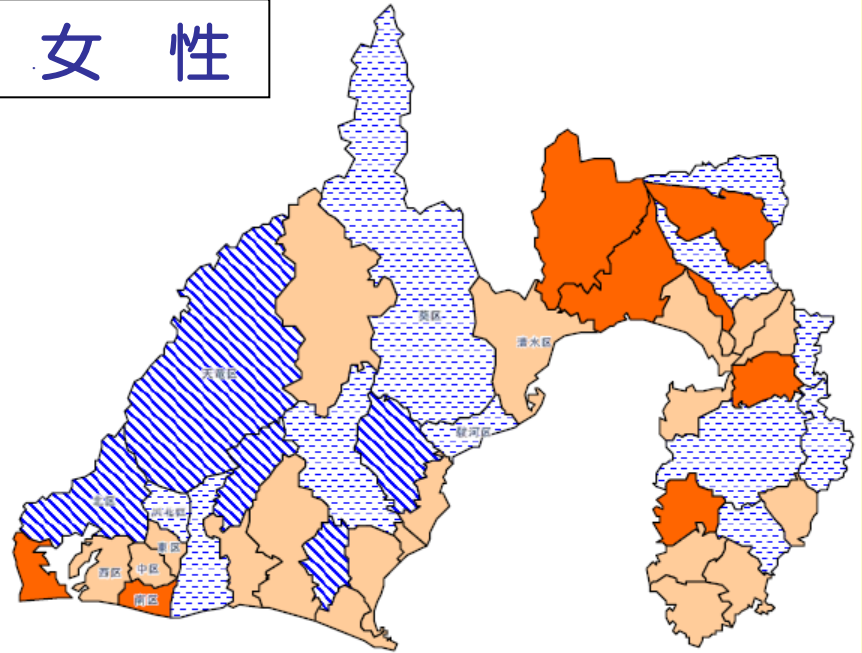
市町別分析：メタボ該当者

- 県東部において、メタボ該当者が多い

男性



女性



有意ではないが、県全体に比べて少ない



県全体に比べて、有意に少ない

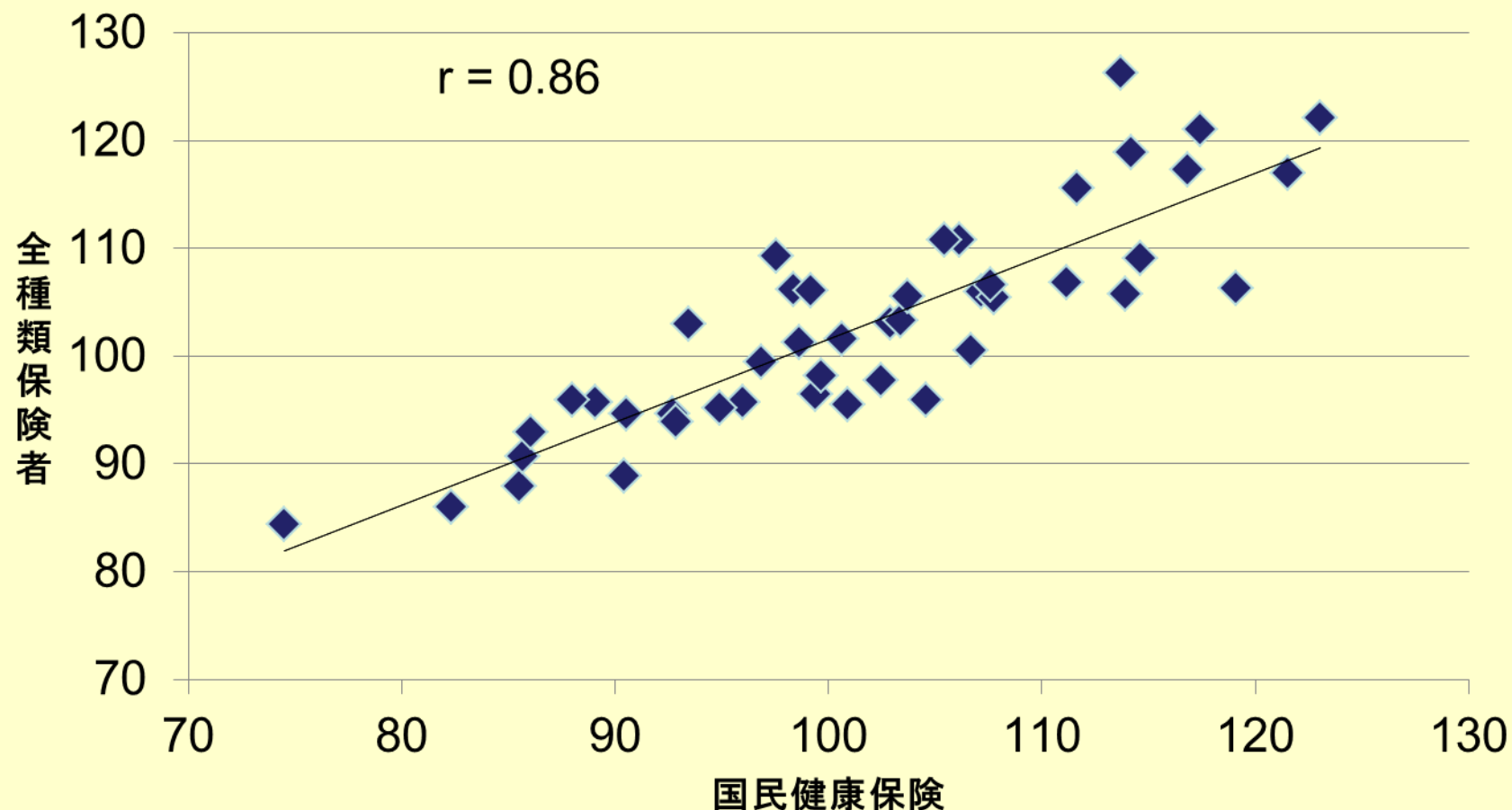


県全体に比べて、有意に多い



有意ではないが、県全体に比べて多い

メタボリックシンドローム該当者の 標準化該当比の国保と全種類保険者データの 比較

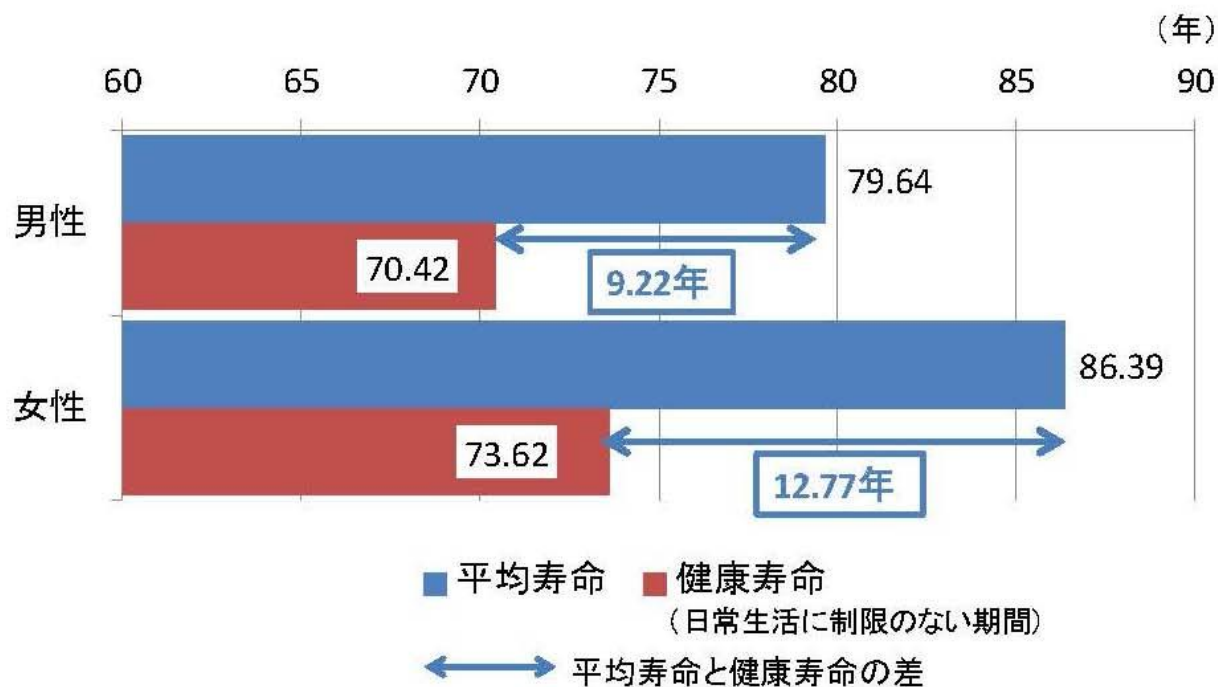


市町村別の特徴は、国保のみで見た場合と、全種類の保険者全体で見てた場合と、若干異なるが、概ね類似

本日の内容

- 国保データの分析
- 協会けんぽデータの分析
- 全種類保険者データの分析
- **健康寿命**
- ふじ33プログラム
- 地域・職域連携の推進
- まとめ

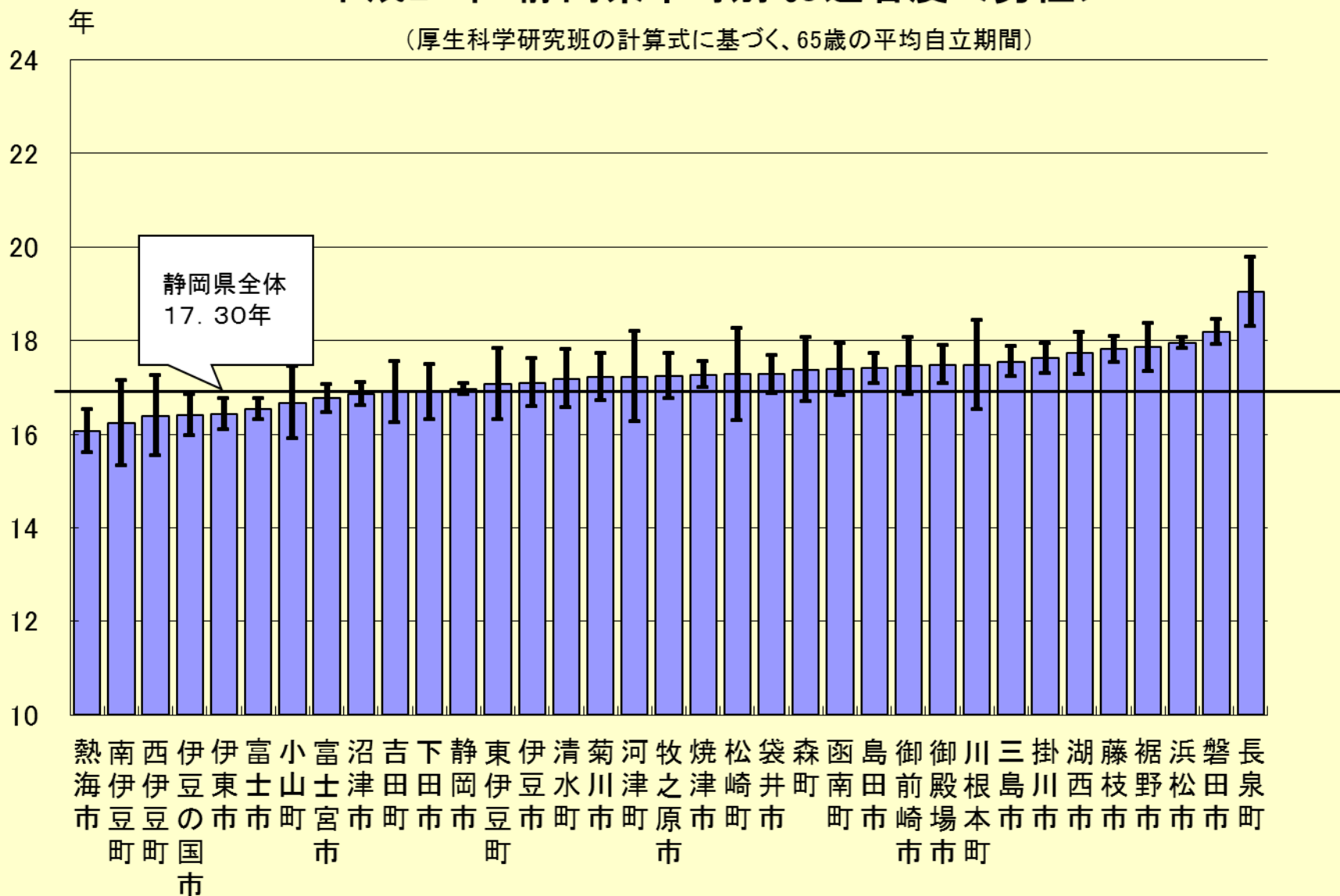
図1 平均寿命と健康寿命の差



資料：平均寿命（平成 22 年）は厚生労働省「平成 22 年簡易生命表」
健康寿命（平成 22 年）は厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」

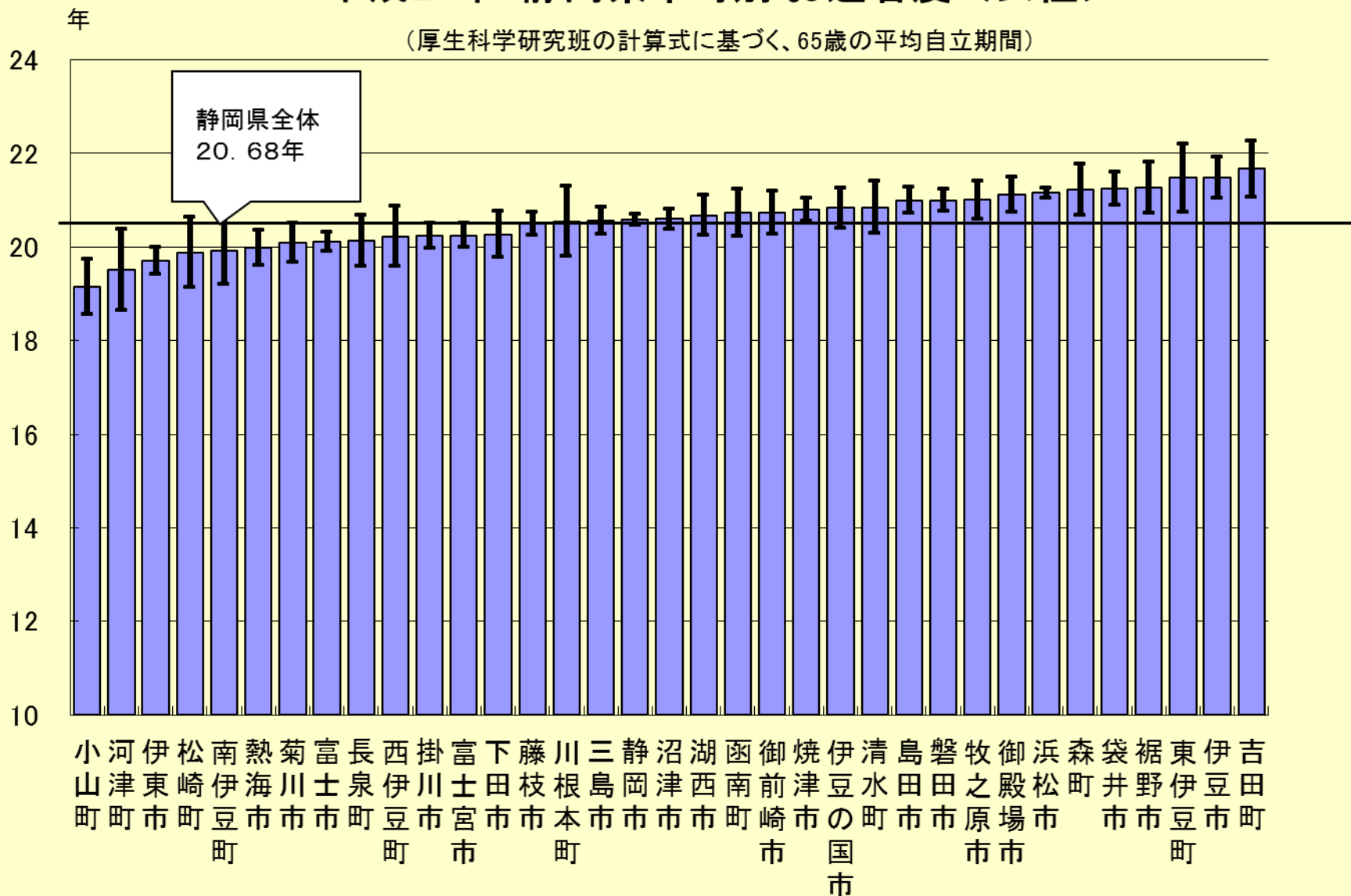
平成21年 静岡県市町別 お達者度＜男性＞

(厚生科学研究班の計算式に基づく、65歳の平均自立期間)



平成21年 静岡県市町別 お達者度<女性>

(厚生科学研究班の計算式に基づく、65歳の平均自立期間)



本日の内容

- 国保データの分析
- 協会けんぽデータの分析
- 全種類保険者データの分析
- 健康寿命
- ふじ33プログラム
- 地域・職域連携の推進
- まとめ

静岡県健康長寿プログラム 「ふじ33プログラム」

3人1組で行う3カ月間の
健康プログラム

ふじ33プログラムが始動

●プログラムの内容●

体力測定 筋力、柔軟性など
8項目を実施



メニュー設定 日々の生活の中で
実践する目標を決める

3人の共通メニュー (例)

[運動] ダンベルを使って
毎日10分トレーニングする

個人メニュー

[食生活] 間食の量や回数を決める

[運動] 毎日30分ウォーキングを行う

[社会参加] ラジオ体操に参加する

実施

3人1組のグループで励まし
合いながら、設定したメニュー
を3カ月間実施



<http://www.pref.shizuoka.jp/kikaku/ki-110b/201208/color/>

自己チェック票、行動メニュー

<A: 身体の動かし方>

- 運動出来る体力づくりを楽しむ:筋力、持久力、バランス、柔軟性
- 歩くことを楽しむ、日常生活の中で体を、動かすことを楽しむ

<B: 食生活>

- 食事のリズムを楽しむ、ちょうどいい量の食生活を楽しむ
- 偏らない食生活を楽しむ、血圧の上昇しない食生活を楽しむ
- 静岡県ならではの食を楽しむ

<C: 社会参加>

- 仲間と行う健康づくり、みんなで行う活動を楽しむ
- 絆づくりを楽しむ

静岡県ふじ33プログラムの展開

- 平成24年度
 - 静岡県健康増進課・静岡県総合健康センターにより、約100人を対象に試行的に実施
- 平成25年度以降
 - 県内の市町村、事業所等で拡大実施予定

本日の内容

- 国保データの分析
- 協会けんぽデータの分析
- 全種類保険者データの分析
- 健康寿命
- ふじ33プログラム
- 地域・職域連携の推進

静岡県での地域・職域連携の展開

- 特定健診分析結果の共有
- 特定健診・保健指導等の啓発
- 各二次医療圏毎の地域・職域連携推進会議の開催
- がん検診と特定健診の同時実施
- 国保と協会けんぽの特定健診の同時実施
- 健康長寿プログラムの展開
- 職場での健康づくり活動に関する知事褒賞

健診データ等分析の今後の課題

- 地域間格差（東西間の差）の分析
- 市町村内の小地域の分析
- 業種を考慮した詳細な分析
などなど

静岡県取り組みのまとめ

- 見える化 → わかりやすくまとめることで、関係者間の認識の共有
- 研修や説明会 → 分析結果を提供するだけでなく、きめ細かい説明会や、研修プログラムを通じた理解
- 連携 → 県・保健所、市町村、各保険者、事業場、大学等の連携